

芦田 文夫教授略歴・主要著作目録

生年月日：1934年12月23日

本籍：京都府

現住所：京都市左京区静市野中町250—10

学 歴

- 1957年3月 京都大学経済学部卒業
 1957年4月 同 大学院経済学研究科修士課程入学
 1959年3月 同 修了
 1959年4月 同 博士課程入学
 1962年3月 同 単位取得・退学
 1981年3月 経済学博士（京都大学・論文博士，論経博第49号，『社会主義的所有と価値論』青木書店，1976年）

職 歴

- 1962年4月～1965年3月 立命館大学経済学部専任講師
 1965年4月～1972年3月 同 経済学部助教授
 1971年4月～1972年3月 同 経済学部補導主事
 1972年4月～現在 同 経済学部教授
 1974年4月～1974年12月 同 経済学部主事
 1974年12月～1975年3月 同 経済学部長代行
 1978年4月～1979年3月 同 学生部次長
 1986年4月～1988年3月 同 教学部長
 1991年4月～1994年3月 同 副総長・副学長
- 1975年 名古屋大学経済学部兼任講師（社会主義経済論担当，後期集中講義）
 1981年4月 京都大学経済学部兼任講師（露経済書購読担当，1982年3月まで）
 1983年4月 橘女子大学兼任講師（経済学担当，1984年3月まで）
 1985年 高知県立短期大学兼任講師（社会主義経済論担当，前期集中講義）
 1986年1987年 山口大学経済学部兼任講師（ロシア・東欧経済論担当，前期集中講義）
 1996年4月 京都橘女子大学兼任講師（経済学概論担当，1999年3月まで）
 1997年1999年 長崎大学経済学部兼任講師（比較経済論担当，前期集中講義）

学会ならびに社会における活動

比較経済体制学会（代表幹事，1997—98年度），比較経営学会（理事），経済理論学会

研究業績

〔著書〕

1. 単著：『社会主義的所有と価値論』（青木書店，1976年9月）
2. 共編：『ソ連社会主義論—現状と課題—』（長砂実氏と共編，第1章執筆，大月書店，1981年3月）
3. 共著：『これからの社会主義』（真田是氏と共著，学習の友社，1981年10月）
4. 共編：『新経済学の基礎』（後藤靖・坂本和一氏と共編，第5章1執筆，有斐閣，1984年3月）
5. 編著：『現代の社会主義』（小野一郎氏と共著，『講座・現代の社会科学』第5巻，学習の友社，1987年4月）
6. 編著：『疑問に答える社会主義』（浜林正夫・山田敬男氏と共著，学習の友社，1990年8月）
7. 単著：『ロシア体制転換と経済学—文明史における市場化—』（法律文化社，1999年5月）
8. 共編：『進化・複雑・制度の経済学』（高木彰・岩田勝雄氏と共編，新評論，2000年2月）

〔学術論文〕

1. 単著：「社会主義再生産と〈投資効率〉」（京都大学『経済論叢』第84巻第5号，1959年11月）
2. 単著：「社会主義投資効率論の展開」（『経済評論』昭和35年5月号，1960年5月）
3. 単著：「〈生産価格〉の消滅過程—資本主義から共産主義への移行における価格範疇〈1〉—」（『経済論叢』第88巻第2号，1961年8月）
4. 単著：「価値の生産価格への転化—資本主義から共産主義への移行における価格範疇〈2〉—」（『経済論叢』第88巻第3号，1961年9月）
5. 単著：「共産主義への移行と計画経済」（『思想』昭和37年11月号，1962年11月）
6. 単著：「経済成長と労働生産性—ソ連邦における労働生産性—」（豊崎稔編『経済成長と構造』，法律文化社，1963年2月，第5章）
7. 共著：「社会主義体制の経済」（木原正雄氏と共同執筆，講座『現代』第3巻，岩波書店，1963年9月）
8. 単著：「社会主義における蓄積と再生産」（講座『現代』第9巻，岩波書店，1964年4月）
9. 単著：「〈広義の経済学〉否定論の系譜—ブハーリン・宇野教授の所説をめぐって—」（『立命館経済学』第13巻第1・2号，1964年6月）
10. 単著：「蓄積構造の変化と農業制度」（『経済評論』昭和39年11月号，1964年11月）
11. 単著：「価格論争」（大崎平八郎・木原正雄編『社会主義経済学の生成と発展』，青木書店，1965年9月，第2篇第4章）
12. 単著：「投資効率論争」（同上書，第2篇第5章）
13. 単著：「〈利潤論争〉の正しい検討のために」（『経済』昭和40年11月号，1965年11月）
14. 単著：「社会主義と価値法則」（講座『マルクス経済学体系。I』，有斐閣，1966年4月）
15. 単著：「社会主義計画経済と市場」（『経済評論』昭和41年11月号，1966年11月）
16. 単著：「ソ連における1920年代の価値論争によせて」（『経済研究』第18巻第4号，岩波書店，

1967年10月)

17. 単著：「資本主義的所有から社会主義的所有へ」「社会主義制度の誕生」（手嶋正毅編『経済学の基礎—所有の歴史—』，有斐閣，1968年4月，第Ⅱ部第3章・第Ⅲ部第2章）
18. 単著：「社会主義経済学の対象と方法」（木原正雄・長砂実編『現代社会主義経済論』，ミネルヴァ書房，1969年9月，第2篇第3章第1節）
19. 単著：「平田清明氏の〈市民社会と社会主義〉批判」（『経済』昭和45年4月号，1970年4月）
20. 単著：「社会主義のもとでの〈使用価値と価値〉(1)(2)(3)」。、『立命館経済学』第19巻第4・6号，第21巻第1号，1970年10月，1971年2月，1972年4月）
21. 単著：「社会主義的所有論の若干の問題—生産関係の体系における企業の位置づけに関連して—」（『経済』昭和48年1月号，1973年1月）
22. 単著：「社会主義経済をめぐる諸問題」（山岡亮一・木原正雄編『現代経済学入門』，峯書房，1974年9月）
23. 単著：「社会主義とは何か」（宇高基輔編『社会主義経済論』，有斐閣，1975年1月，第1章）
24. 単著：「ソ連における最近の社会主義的所有論争」（『アジア経済』第16巻第5号，1975年5月）
25. 単著：「社会主義的生産諸関係，生産および労働の諸関係」（木原正雄・長砂実編『現代日本と社会主義経済学』上巻，大月書店，1976年5月，第2篇第2章）
26. 単著：「国家独占資本主義と社会主義」（同上書下巻，1976年6月，第6篇第1章）
27. 単著：「社会主義的〈所有論〉から〈管理論〉へ」（小野一郎・篠原三郎編『社会主義的所有と管理』，有斐閣，1976年8月，第3章）
28. 単著：「ソ連の生活水準」（『日ソ経済調査資料』第563号，1979年3月）
29. 単著：「社会主義の多様性と所有論・商品論」（藤田勇編『講座・史的唯物論と現代．第6巻．社会主義』，青木書店，1979年6月）
30. 単著：「〈生産の社会化〉と社会主義的所有」（『経済論叢』第127巻第1号，1981年1月）
31. 単著：「所有論争と社会主義」（島恭彦監修『講座・現代経済学．第5巻．現代経済学論争』，青木書店，1981年4月，第7章）
32. 単著：「民主的改革から社会主義へ」（『講座・今日の日本資本主義．第10巻．日本経済の民主的改革と社会主義の展望』大月書店，1982年9月）
33. 単著：「社会主義の経済問題」（勤労者通信大学編『経済学教室．第2集』，学習の友社，1982年10月，第7章）
34. 単著：「『社会主義経済と国家』にかんする覚書—『経済的メカニズム』論とのかかわりて—」（上）(中の1)(中の2)（『立命館経済学』第31巻第4号，第33巻第3号，第33巻第5号，1982年10月，1984年8月，1984年12月）
35. 単著：「社会主義の発展段階規定の一考察」（研究と討論，『前衛』第491号，1983年4月）
36. 単著：「社会主義国家の経済的機能」（『大阪経大論集「建林隆喜教授追悼号」』第162・163号，1985年3月）

37. 単著：「社会主義における経済と政治（試論）」（公開討論，『前衛』第519号，1985年3月）
38. 単著：「『社会主義における国家と経済』に関するノート」（『社会主義経済研究』第4号，1985年4月）
39. 単著：「経済民主主義の担い手の成長」（『講座・日本の労働組合運動』第4巻．経済民主主義運動』，大月書店，1985年4月）
40. 単著：「民主的変革と経済的メカニズム」（『講座・現代日本社会の構造変化』第3巻．現代日本の資本主義』，有斐閣，1985年10月）
41. 単著：「社会主義所有制度」（大崎平八郎編『社会主義経済論』，有斐閣，1986年10月，第2編第3章）
42. 単著：「『経済改革』と社会主義的所有論」（『立命館経済学』第37巻第4・5号，1988年12月）
43. 単著：「社会主義経済」（『経済』平成1年4月号，1989年4月）
44. 単著：「ペレストロイカと『経済的メカニズム』論」（『社会主義経済研究』第12号，1989年8月）
45. 単著：「ポーランドの『経済改革』『政治改革』」（『経済』平成2年2月号，1990年2月．『どうなるソ連・東欧経済』新日本出版社，1990年5月に所収）
46. 単著：「世界史のなかの現存社会主義」（『経済科学通信』第63号，1990年6月）
47. 単著：「所有形態の多様化をどうみるか」（『経済』平成2年6月号，1990年6月．『ソ連・東欧経済と西側戦略』，新日本出版社，1990年9月に所収）
48. 単著：「社会主義と『計画・市場』『所有』」（『科学と思想』第77号，1990年7月）
49. 単著：「社会主義論の研究課題」（『経済』平成2年9月号，1990年9月）
50. 単著：「ソ連共産党第28回大会での経済・社会問題」（『ソビエト研究所ビュレティン』第11号，1990年10月）
51. 単著：「ソ連における『市場経済への移行』をめぐって」（『ソビエト研究所ビュレティン』第13号，1991年2月）
52. 単著：「現存社会主義と『市場経済化』論」（『立命館経済学』第39巻第6号，1991年3月）
53. 単著：「ロシア経済体制転換の現状」（『立命館経済学』第43巻6号，1995年2月）
54. 単著：「ロシア『経済体制転換』からの課題」（『比較経済体制研究』第2号，1995年5月）
55. 単著：「ロシア『経済改革』の現段階とオルタナティブ」（『ロシア・ユーラシア経済調査資料』第757号，1995年6月）
56. 単著：「ロシア『市場経済化』におけるマクロ経済政策と産業政策」（『立命館経済学』第44巻第3号，1995年8月）
57. 単著：「体制転換と経済学への課題」（高木彰・岩田勝雄編『21世紀経済学のパラダイム』法律文化社，1995年12月，第5章）
58. 単著：「ロシアにおける経済学研究の動向」（『経済理論学会年報』第33集，青木書店，1996年10月）
59. 単著：「市場形成期におけるロシアの労働運動」（『立命館大学人文科学研究紀要』第66号，1997年1月）

60. 単著：「体制転換における企業と労働」（『立命館経済学』第45巻第6号，1997年2月）
61. 単著：「ロシア体制転換と経済危機」（『経済』第19号，1997年4月）
62. 単著：「ロシアの経済体制転換理論」（『比較経済体制研究』第4号，1997年5月）
63. 単著：「市場経済化と『ロシア的なもの』」（『立命館経済学』第46巻第6号，1998年2月）
64. 単著：「『社会主義体制論』をめぐる」（立命館大学人文科学研究所編『戦後五〇年をどうみるか（上）』人文書院，1998年3月）
65. 単著：「ロシア体制転換と制度理論・進化理論」（『立命館経済学』第47巻第2・3・4号，1998年10月）
66. 単著：「マネタリズム的『市場経済化』の帰結」（『ロシア・ユーラシア経済調査資料』第800号，1999年1-2月）